

誇りをもって困難克服を

総裁・秋篠宮皇嗣殿下、 新型コロナウイルスでメッセージ

日本において、最初に「原因不明の肺炎」として報道されたのは、2019年の暮れも押し詰まった12月31日でした。そのころは、この肺炎には名称もなく、また新種のコロナウイルスによって引き起こされる疾病であることもわかっておりませんでした。



秋篠宮皇嗣殿下

それから暫くの間、私たち日本人にとってこの疾病は、エボラ出血熱などと同じように、海外の地域で起こっていることと認識されていたのではないのでしょうか。それが、年が明けた1月15日には日本で最初の感染者が確認され、その後徐々に感染者数が増え、3月末からは感染者数が指数関数的に増加しました。また重症化や重篤化、そして死亡者の事例が連

日報告されるにいたり、人々のもつ危機意識は相高まってきました。この一連の流れのなかで、2月13日に和歌山県済生会有田病院の医師がCOVID-19に感染をしたとのニュースが流れました。私はそのとき、あるフォーラムに出席をするために岩手県に滞在

中でした。この時期は国内の感染者数も未だ少なく、私自身、今ひとつこの感染症にたいする認識が低かったのですが、滞在先で有田病院のことを報道で知り、俄に身近なものになったことを覚えております。

その有田病院は、最初の一報以降に医師や入院患者およびその家族が複数感染していることがわかりましたが、和歌山県と密に連携しつつ感染拡大防止の対応につとめ、院内の完全クリーン化がなされました。そして、3月4日からは通常の医療体制へ戻り、地域医療への影響を最小限に食い止めることができました。

大阪府の中津病院では、感染の疑いのある患者を含め200人以上の患者を診察しています。その中には、発熱した高齢者がPCR検査で陰性になったものの、医師が症状から感染を疑って入院してもらい、再検査の結果陽性と分かり、救命につながった例もあったと聞いております。

東京都の中央病院附属乳児院は、私が総裁に就任して間もない時期に訪問した思い出深い施設ですが、そこで集団感染が発生しました。陽性となった乳幼児8人は中央病院に入院し、陰性の21人は施設に残りましたが世話をする乳児院の職員は濃厚接触者にあたるため、全員が自宅待機になりました。このため中央病院は一般診療を縮小し、看護部を中心とした職員が特別ローテーションを組んで乳幼児の世話にあたり、済生会の

他施設やボランティアの方々の応援も得て、何とかのぎきり、5月11日より通常の養育体制に戻ることができました。COVID-19についての済生会の取り組みは、折にふれて炭谷茂理事長、松原了理事から報告を受けております。また、横浜港大黒埠頭に接岸したダイヤモンド・プリンセス号への対応については、横濱市南部病院の竹林茂生院長と市東部病院の渡邊輝子看護部長から詳細な報告書を読みました。船内の様子やDMAT、病院への受け入れの状況を理解することができました。

5月に入ってから、現場で医療に携わっている皆さんの身体的な疲れを心配しております。また、誠心誠意治療や看護にあたり、多くの職員が、地域で心ない偏見に遭っていることを聞き、深い憂慮の念を抱いています。COVID-19は長期にわたって続くものと推察いたします。この感染症と日々向き合っておられる皆さんには、くれぐれも自らの感染防止や心身の健康に留意しながら、誇りをもってこの大きな困難を乗り越えていかれることを願っております。そして、皆さんを始め、日本の各地で医療に従事されている方々の多大なご尽力にたいし深く感謝いたします。

秋篠宮文仁

また、済生会の高齢者や障害者福祉施設における感染の危険性は高く、やむなく入居者とご家族との面会を控えていただき、コミュニケーションはテレビ電話を通じて行なうなど、施設内にウイルスを入れないよう厳戒体制を取っていることも伺いました。

このメッセージを書いている5月15日現在、済生会の26病院でCOVID-19の患者を受け入れております。このように、済生会の各施設が、常に感染の危険性に対峙しながらも一丸となって高い使命感を持ち、献身的に医療を行っている姿に深く敬意を表します。

そのいっぽう、感染防止のための防護服やゴーグルなどの医療資材が不足し、また限られた人数で日々患者と向き合っている皆さんの身体的な疲れを心配しております。また、誠心誠意治療や看護にあたり、多くの職員が、地域で心ない偏見に遭っていることを聞き、深い憂慮の念を抱いています。

COVID-19は長期にわたって続くものと推察いたします。この感染症と日々向き合っておられる皆さんには、くれぐれも自らの感染防止や心身の健康に留意しながら、誇りをもってこの大きな困難を乗り越えていかれることを願っております。そして、皆さんを始め、日本の各地で医療に従事されている方々の多大なご尽力にたいし深く感謝いたします。

秋篠宮皇嗣殿下ご一家に新型コロナウイルス対応をご説明
新型コロナウイルス感染症に関し済生会は5月11日、総裁・秋篠宮皇嗣殿下同妃殿下に済生会病院等の対応状況をテレビ電話でご説明した。眞子、佳子両内親王殿下も別室のモニターで参加された。

秋篠宮皇嗣殿下は説明を受けられた後、済生会職員や全国の医療従事者に向け、メッセージを賜った。

東京都港区の宮家と済生会本部事務局を結び、事務局からは、炭谷茂理事長をはじめ松原了理事、東京・中央病院の海老原全院長、東京・向島病院の塚田信廣院長、神奈川県・横浜市東部病院の三角隆彦院長、全国済生会看護部長会の樋口幸子会

院、地域の基幹病院が集団感染したため患者を引き受けるようになった東京・向島病院、クルーズ船の重症の感染者の治療に当たった横浜市東部病院。いずれのお話からも、感染の危険性を強く感じながらも日々最前線で活動を続ける病院職員の方々の姿勢と奮闘ぶりに大きな感銘をうけました。

また、済生会の高齢者や障害者福祉施設における感染の危険性は高く、やむなく入居者とご家族との面会を控えていただき、コミュニケーションはテレビ電話を通じて行なうなど、施設内にウイルスを入れないよう厳戒体制を取っていることも伺いました。

このメッセージを書いている5月15日現在、済生会の26病院でCOVID-19の患者を受け入れております。このように、済生会の各施設が、常に感染の危険性に対峙しながらも一丸となって高い使命感を持ち、献身的に医療を行っている姿に深く敬意を表します。

そのいっぽう、感染防止のための防護服やゴーグルなどの医療資材が不足し、また限られた人数で日々患者と向き合っている皆さんの身体的な疲れを心配しております。また、誠心誠意治療や看護にあたり、多くの職員が、地域で心ない偏見に遭っていることを聞き、深い憂慮の念を抱いています。

COVID-19は長期にわたって続くものと推察いたします。この感染症と日々向き合っておられる皆さんには、くれぐれも自らの感染防止や心身の健康に留意しながら、誇りをもってこの大きな困難を乗り越えていかれることを願っております。そして、皆さんを始め、日本の各地で医療に従事されている方々の多大なご尽力にたいし深く感謝いたします。

秋篠宮文仁

秋篠宮文仁

THE NEWS SAISEI

社会福祉法人 済生会
東京都港区三田1-4-28 三田国際ビルディング21F TEL 03-3454-3311
電話 03-3454-3311
FAX 03-3454-5576
編集兼発行人 炭谷 茂

発行所

https://www.saiseikai.or.jp/

高松宮記念基金にご協力ください

令和2年1月～4月分実績

◎本会会員加入状況	38,495人	83.8%
	43,455口	8,690万円
◎外部会員加入状況	1名	6千円
◎一時寄付状況	14件	19万円
	(内、自販機関係)	7万円
◎募金箱		32万円

春の叙勲
4月29日 本会関係者

瑞宝中綬章
済生会総研研究評価委員
松谷有希雄氏

瑞宝小綬章
元群馬県済生会副会長・
監事
小出 省司氏

瑞宝双光章
高岡病院臨床検査技師
畑 隆弘氏

日田病院名誉院長
西田 敬氏

元山崎県済生会理事・評議員
吉田 正治氏

元福井県済生会病院副院長兼看護部長
清水 紀子氏

瑞宝単光章
元埼玉県済生会理事
元石川県済生会保育園ア
イリス園長
割出 和子氏

新任施設長の抱負
〔北海道〕西小樽病院
どりの里

〔北海道〕西小樽病院
どりの里

瑞宝単光章
中津病院看護部長
今西 裕子氏

瑞宝単光章
中津病院看護部長
今西 裕子氏

(広報室)

(2面に続く)

(一面から続く)
〔千葉〕救護施設猿田の丘なでしこ盲養護老人ホーム猿田の丘なでしこ



徳宿 松一

昭和40年生まれ。茨城県出身。59年茨城県立銚田第一高等学校卒業。平成16年猿田荘入職。生活指導室長を経て、令和2年4月施設長に就任。

「当施設は、生活保護法に基づく救護施設と老人福祉法に基づく盲養護老人ホームを併設しています。当施設は理念「利用者一人ひとりの基本的権利を尊重する」を胸に、職員一丸となり、より良い施設をめざし取り組んでまいります」



橋本 幸代

昭和37年生まれ。福井県出身。56年大阪府済生会中津病院入職。59年大阪済生会中津看護専門学校卒業。61年福井県済生会病院入職。平成18年看護副師長。28年福井県済生会乳児院へ出向。養育課長を経て、令和2年4月院長に就任。

〔東京〕中央病院附属乳児院



小寺 政明

昭和34年生まれ。埼玉県出身。58年東京経済大学経営学部卒業。中央病院入職。平成20年事務次長。23年向島病院事務部長。令和2年1月乳児院院長に補佐を経て、同年4月院長に就任。

「当院は、関東大震災で被災した妊産婦や乳児の救護のため大正13年1月に開設された『赤羽乳児院』が始まりです。小規模ケアや地域子育て支援等の充実のため、本年7月に新築移転の予定です。入所児童の生活の安全を確保し、『済生の精神』に基づいた養育の実施に努力いたします」

〔新潟〕なでしこ青空保育園



大谷 久美子

昭和33年生まれ。新潟県出身。54年聖徳学園短期大学付属教員保育養成所卒業後、市立保育所、平成27年保育所長を経て、令和2年4月なでしこ青空保育園園長に就任。

「『長和園』の創設年と、自身が保育士として働き始めたのが同年だったという点に何か不思議な縁を感じています。就任にあたり公立保育所在職の経験を生かし、『今をもっとよく生き、望ましい未来を創り出す力の基礎を培う愛と希望を持つ人間性を養う』という理念を基に、地域に愛され保護者から信頼される保育園の運営に努めてまいります」

まいりたいと思います。何とぞよろしくお願い致します」

〔新潟〕なでしこワークス



北村 純夫

昭和44年生まれ。長野県出身。平成5年東北福祉大学社会福祉学部卒業。新潟第二病院入職(MSW)。22年新潟内科診療所事務長兼任、25年地域連携福祉センター課長を経て、令和2年4月新潟なでしこワークス管理者(施設長)に就任。

「当施設は地域と『ともに歩み、支える』を理念に社会的ハンディキャップのある方々への社会資源の一つとして、個別的な就労継続支援のサービス提供に献身的に努めてまいります」

〔新潟〕特別養護老人ホーム長和園



近藤 弘

昭和39年生まれ。新潟県出身。61年淑徳大学社会福祉学部卒業。平成6年長和園入職。生活相談員、介護支援専門員、27年次長を経て、令和2年4月施設長に就任。

「当施設は、昭和54年に開設、令和元年に創立40周年を迎え、同年6月には新築移転が終了しました。特養を中心に短期入所、通所介護等の高齢者サービス11事業と保育事業を行なっています。当施設の重点事項『信頼される質の高いサービス』を常に心がけ、地域の皆様に愛される施設作りに努めてまいります」

愛知県三河青い鳥医療療養センター



則竹 耕治

昭和33年生まれ。愛知県出身。59年名古屋大学医学部卒業。市立岡崎病院名古屋大学整形外科などを経て、平成7年シレッツ小児病院留学。8年愛知県立心身障害児療養センター第二青い鳥学園整形外科、29年愛知県三河青い鳥医療療養センター副センター長兼整形外科部長。令和2年4月センター長に就任。

「当センターは、医療型障害児入所施設、療養介護事業所、医療型児童発達支援センターなどを備え平成28年4月に新築移転。障がいのある子どもや重症心身障がいの成人の多様なニーズに応え、さらに障がい児・者の医療の進歩に貢献できるよう努力してまいります」

滋賀県済生会看護専門学校



三木 恒治

昭和24年生まれ。大阪府出身。50年大阪大学医学部卒業。同大学附属病院勤務。51年大阪府立成人病センター入職。平成10年京都府立医科大学泌尿器科学教室教授。附属病院長、副院長を経て27年滋賀県済生会医療福祉センター総長兼任、令和2年4月学校長に就任。

「済生会の看護師としてコミュニケーション能力の育成・主体性の育成・倫理的判断能力の育成・問題解決能力の育成を教

育目的とし、幅広い視野で社会のニーズに対応できる能力と看護の専門性を追求できる人材の育成に取り組みでまいります」

〔大阪〕泉南特別養護老人ホームなでしこりんくう

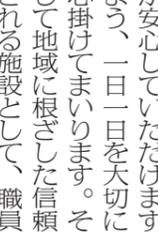


内良 数

昭和34年生まれ。大阪府出身。昭和53年に大阪府立野野高等学校卒業。同年に泉南市役所入職。平成21年に高齢障害介護課長。平成27年に健康福祉部長を経て、令和2年4月泉南特別養護老人ホームなでしこりんくう施設長に就任。

「当施設は同じ施設内の病院・老健等と連携し、総合的な援助を行なっています。今後も利用の皆様の笑顔が絶えないサービスで、また家族の皆様が安心していただけますよう、一日一日を大切に心掛けてまいります。そして地域に根ざした信頼される施設として、職員一丸となって取り組んでまいります」

〔広島〕特別養護老人ホームたかね荘/特別養護老人ホームたかね荘こやうら/軽費老人ホームたかねアハウス安芸



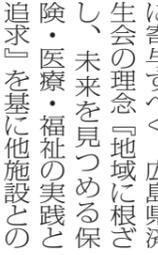
川上 博美

昭和38年生まれ。広島県出身。61年美作女子大学家政学部卒業。小学校臨時教諭を経て、62年済生会総合病院入職。同年済生会広島病院異動。平成19年広島病院総務課長心得。25年介護老人保健施設はまな荘事務室長、

30年4月同事務部長を経て、令和2年4月特別養護老人ホームたかね荘特別養護老人ホームたかね荘こやうら、軽費老人ホームたかねアハウス安芸施設長に就任。

念病院外科入職。63年済生会下関総合病院心臓血管科入職。平成22年同科科長、26年同院副院長を経て、令和2年4月施設長に就任。

「当施設は平成12年7月に豊浦病院に併設。開設時から医療を含めた看護・介護、リハビリテーション、在宅生活支援などを総合的に行なっています。時代の変化に対応し、利用者の皆様への一層のサービス向上と働き方の効率化による職員の負担軽減との両立を目指し、利用者の皆様も職員も相互に生き生きと過ごせる施設であるよう努めてまいります」

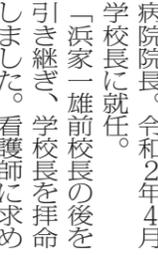


山本 和秀

昭和24年生まれ。岡山県出身。49年岡山大学医学部卒業。岡山大学第一内科学教室入局。川崎医科大学、トロント大学、岡山大学消化器内科を経て平成27年岡山済生会総合病院院長。令和2年4月学校長に就任。

「浜家一雄前校長の後を引き継ぎ、学校長を拝命しました。看護師に求められる知識や技術が多様化・高度化する中、3年間の短い期間で密度の高い教育に努めてまいります。また済生会人としての人間力やコミュニケーション能力を身に付ける教育に取り組んでまいります」

〔山口〕介護老人保健施設ひびき苑



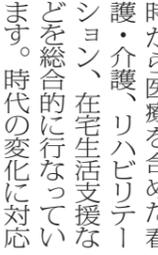
阪田 健介

昭和31年生まれ。広島県出身。58年山口大学医学部卒業。済生会下関総合病院入職。61年日本心臓血圧研究所付属神原記

念病院外科入職。63年済生会下関総合病院心臓血管科入職。平成22年同科科長、26年同院副院長を経て、令和2年4月施設長に就任。

「当施設は平成12年7月に豊浦病院に併設。開設時から医療を含めた看護・介護、リハビリテーション、在宅生活支援などを総合的に行なっています。時代の変化に対応し、利用者の皆様への一層のサービス向上と働き方の効率化による職員の負担軽減との両立を目指し、利用者の皆様も職員も相互に生き生きと過ごせる施設であるよう努めてまいります」

「当施設は平成12年7月に豊浦病院に併設。開設時から医療を含めた看護・介護、リハビリテーション、在宅生活支援などを総合的に行なっています。時代の変化に対応し、利用者の皆様への一層のサービス向上と働き方の効率化による職員の負担軽減との両立を目指し、利用者の皆様も職員も相互に生き生きと過ごせる施設であるよう努めてまいります」



兼頭 篤志

昭和42年生まれ。愛媛県出身。平成2年松山大学卒業。医療法人勤務を経て、26年松山特別養護老人ホーム事務長心得として入職。27年松山特別養護老人ホーム事務長を経て、令和2年4月姫原特別養護老人ホーム/軽費老人ホームたかねアハウス姫原施設長に就任。

「当施設は松山市北部に平成10年に開設し、特別養護老人ホームに加え、介護支援センターとケアハウスを併設しております。地域の皆様に安心して過ごしていただくことを目指し、職員にとって働きがいのある施設、信頼される施設であるよう努めます。また今後想定される大規模自然災害に耐える体制づくりに取り組んでまいります」

「当施設は平成12年7月に豊浦病院に併設。開設時から医療を含めた看護・介護、リハビリテーション、在宅生活支援などを総合的に行なっています。時代の変化に対応し、利用者の皆様への一層のサービス向上と働き方の効率化による職員の負担軽減との両立を目指し、利用者の皆様も職員も相互に生き生きと過ごせる施設であるよう努めてまいります」

医療施設情報統合管理システム Medifims (メディフィームス)

煩雑な資産管理を簡素化・可視化

導入運用開始病院

- 千葉県済生会習志野病院
- 埼玉県済生会川口総合病院
- 栃木県済生会宇都宮病院
- 大阪府済生会中津病院
- 東京都済生会中央病院
- 富山県済生会富山病院

相互にリンク

統合一元管理

- CAD図面との連携により資産・医療機器の所在が明確に!
- 耐用年数切れやリース満了資産の把握が可能に!
- 点検・修理修繕履歴が効率的に管理が可能に!
- バーコードを活用した棚卸業務の簡素化!
- ME機器貸出管理可能!

Medifimsは、院内全体のファシリティ管理に貢献します。
〒104-6136 東京都中央区晴海1-8-11晴海トリトンスクエア Y棟36階
TEL: 03-5144-0821 <http://www.sunmedix.co.jp>
営業企画室 担当 川田、齋藤

サンメディックス株式会社

医療現場の不測の事態に Pump Air Mat

ポンプインエアーマット

2~3分で膨らましカンタン
670gで軽量コンパクト
ハンドポンプ内蔵

膨らました時の寸法
幅50×長さ182×高さ8cm

いつでもどこでも
快適に快眠

災害時に避難用品として大活躍!
普段は登山やキャンプでご利用いただけます

特許取得 平成31年度 東京都トライアル発注認定商品

ポンプインエアーマット (イガラシ社製)
品番: WMU-A02B
メーカー希望小売価格 (税別)
12,000円/個
1ケース(10個入り)以上お求めの場合はご相談ください

伊ガラシ社製 ポンプインエアーマット
TEL 03-5812-1151
〒110-0005 東京都台東区上野5-7-11 MRビル4F
FAX 03-5812-1154 <https://www.try-qa.com/>

東日印刷グループ お問合せはこちら TRY 株式会社トライ